

メディア掲載

2021年4月12日
5月10日

菓子食品新聞に
掲載されました



菓子食品新聞様に弊社社長のインタビュー記事が掲載されました。
JCコート™の特徴や今後の展開など詳しく掲載されています。
詳しくは裏面をご覧ください。

詳しくは裏面へ

JCコート™
機能性表面処理膜

太陽誘電ケミカルテクノロジー株式会社 <https://jcty.jp/>

お問い合わせ **TEL.027-345-0231** (営業直通)

群馬県高崎市倉賀野町2925-3[第2工場] 受付時間/9:00~17:00(土・日・祝日を除く)



JCコート
特設ページ

※機能性表面処理「JCコート」は、日本における太陽誘電株式会社の登録商標または商標です。 ※画像はイメージです。

前編

TOP Interview

太陽誘電ケミカルテクノロジー

代表取締役社長 石黒利昭氏



世界的な電子部品メーカーとして知られる太陽誘電。その子会社である太陽誘電ケミカルテクノロジー(群馬県高崎市)が開発した表面処理技術『JCコート』が菓子・食品業界で大きな注目を浴びている。驚異の撥水撥油性能を聞きつけた米菓メーカーは既に導入を開始。製造ライン機器のクリーニングに革命的インパクトをもたらす。省人化と省力化に大きな成果を取っている。同社の『JCコート』の魅力とは何か。石黒利昭社長に聞いた(前編)。

世界の太陽誘電が誇る微細加工技術

本紙 太陽誘電といえ、いまやモバイルネットワーク社会に不可欠な積層セラミックコンデンサの分野で世界的に有名な企業ですが、どのような理由で、このような技術で菓子・食品業界に挑もうとされているのかをお聞きします。

石黒 戦後間もない1950年(昭和25年)、初代社長の佐藤彦八が太陽誘電を創業し、電子部品を中核に研究開発型企業として発展しました。特に積層コンデンサの分野では、セラミック材料粒子を均一サイズに微細化する事で、容量で小型化を実現しています。数ミクロンの電極シートを何百層も重ねた超小型のコンデンサが有るからこそ、モバイルネットワーク社会の主役

であるスマートフォン、性能を格段と向上させることができたのです。最近では2019年には世界最薄0.064mm厚の積層セラミックコンデンサの商品化を実現して

電自身が「5G時代」を迎えたスマートフォン、その中核基地、さらには、当社を含む太陽誘電グループが長年培ってきた表面処理技術の一つで、自動運転などの需要も後押しとなり、弊社として「新たなチャレンジ」を

始めるわけですね。石黒 『JCコート』とは、当社を含む太陽誘電グループが長年培ってきた表面処理技術の一つで、自動運転などの需要も後押しとなり、弊社として「新たなチャレンジ」を

御社事業の柱にしたきっかけは、石黒 太陽誘電の正社長が「何でもやってみよう」というチャレンジ精神旺盛なところから、親会社とは違う独自の新しいビジネスを始めようというスタンスで「撥水撥油」を核とする特殊技術が菓子などの食品製造ラインの機器洗浄に威力を発揮する

本紙 『JCコート』の何が受け入れられたのですか? 石黒 米菓メーカーの場合ですと、味材をまぶした製品が振動で「JCコート」の魅力を

驚異のJCコート! 新潟米菓メーカーも導入

本紙 太陽誘電といえ、いまやモバイルネットワーク社会に不可欠な積層セラミックコンデンサの分野で世界的に有名な企業ですが、どのような理由で、このような技術で菓子・食品業界に挑もうとされているのかをお聞きします。

本紙 戦後間もない1950年(昭和25年)、初代社長の佐藤彦八が太陽誘電を創業し、電子部品を中核に研究開発型企業として発展しました。特に積層コンデンサの分野では、セラミック材料粒子を均一サイズに微細化する事で、容量で小型化を実現しています。数ミクロンの電極シートを何百層も重ねた超小型のコンデンサが有るからこそ、モバイルネットワーク社会の主役

であるスマートフォン、性能を格段と向上させることができたのです。最近では2019年には世界最薄0.064mm厚の積層セラミックコンデンサの商品化を実現して

電自身が「5G時代」を迎えたスマートフォン、その中核基地、さらには、当社を含む太陽誘電グループが長年培ってきた表面処理技術の一つで、自動運転などの需要も後押しとなり、弊社として「新たなチャレンジ」を

御社事業の柱にしたきっかけは、石黒 太陽誘電の正社長が「何でもやってみよう」というチャレンジ精神旺盛なところから、親会社とは違う独自の新しいビジネスを始めようというスタンスで「撥水撥油」を核とする特殊技術が菓子などの食品製造ラインの機器洗浄に威力を発揮する

本紙 『JCコート』の何が受け入れられたのですか? 石黒 米菓メーカーの場合ですと、味材をまぶした製品が振動で「JCコート」の魅力を

TOP Interview

太陽誘電ケミカルテクノロジー

代表取締役社長 石黒利昭氏

世界的な電子部品メーカー、太陽誘電の子会社である太陽誘電ケミカルテクノロジー(群馬県高崎市)が開発した『JCコート』(機能性表面処理膜)。後編は『JCコート』の性能を詳細に掘り下げながら、今後の販売施策なども含めた同社の抱負をきいた。(後編)。



汚れずくまかなメンテナンスにも効果

本紙 米菓業界で導入が進んでいる『JCコート』ですが、今後、他方面への広がりが期待されますか? 石黒 お菓子も含め、3年ほど前から食品業界

に向けて営業活動を進めています。お菓子に関しては、特に新橋を中心とした米菓メーカーで採用され、残念ながら米菓以外のジャンルでは、認知度は低い状況です。裏を返せば、販路拡大の余地がたぐくさん残っているということなので、今後は営業力をもっと強化したいと考えています。

4つの種類があり、中でも『JCコートP』はシリーズ中、最も撥水撥油性に優れています。特にコーティングは他は無いので、食用油を大量に使うスナック菓子などのジャンルでは、防汚性・

石黒 とにかく汚れが付きにくいのです。搬送に際しては、翼、シャフト、型抜き、ワイヤー、さらには梱包用テープカット刃などに『JCコート』をコーティングすれば、作業効率が飛躍的に上がります。

石黒 衛生性の向上は、企業にとって大きなテーマの一つです。ましてや食品業界は、衛生面に対して特段の神経を遣わなければならない。『JCコート』は、製造現場での省力化と省人化、衛生管理面で大きく貢献できる

石黒 『JCコート』は目に見える物体と違うので、コスト面での実感は湧きにくいかも知れませんが、実際に『JCコート』を導入しているメーカーでは「これはお得だ」ということを実感されています。前述のとおり、製造現場での省力化や省人化などのメリッ

本紙 最後にもう一度お話しください。石黒 『JCコート』の魅力は、電子部品メーカーとして長年培ってきた弊

社の技術の結晶といえます。商品化するまで数えきれないほどの実験を重ねました。特に、食品製造工程でよく使われる「ワイヤー」(自動で振動させて食品食材を高速で供給する装置)の具材付着やメンテナンス上の課題を解消するには絶対的自信があります。電子部品とは分野が違いますが、『JCコート』が菓子業界をはじめ食品業界全体のお役に立てるのであれば、これほど嬉しいことはありません。多く

製造現場での課題解消に自信あり!

本紙 新しい販路として、弊社の『JCコートP』がお役に立てると考えています。

石黒 食品業界すべてが、お菓子ですとポテトチップスなどスナック菓子のメーカーです。『JCコート』は用途に応じて

洗浄性といった課題に対して、弊社の『JCコートP』がお役に立てると考えています。

本紙 製造現場での利点は?

本紙 製造現場での労働効率が高まるので、本紙 まさに良いこと

本紙 菓子業界の課題も合わせて軽減できるというところですね。石黒 『JCコート』の膜は「ダイヤモンド・ライク・カーボン」(DLI)化や省人化などのメリッ

